

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|--|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 4 | 運営推進会議には、管理者、部署責任者、職員と入居者、地域の介護相談員の方々が出席している。ご家族や地域の方の参加者を増やしたいが、ご家族の方の高齢化もあり厳しい現状でもある。 | 運営推進会議に、誰もが気軽に参加していただけるような取り組みを行う。参加が厳しいご家族には資料や会議録に目を通していただく。 | 運営推進会議の資料や会議録をファイリングした物を常に目の届く場所に置き、周知に努める。ご家族や地域の方が気軽に参加していただけるよう、文書や面会時に声掛けを行う。 | 6ヶ月 |
| 2 | 26 | ケアプランに本人やご家族の意見を、反映させる取り組みが必要。日々のケース記録でも、長期・短期目標を意識した内容が書けていない。職員一人一人がケアプランを理解出来ていないのではないか。 | ケアプランに本人やご家族の意見を反映させ、職員が目標にそった個別ケアを行う。 | ケアプラン更新の際には、事前にご家族と話し合う機会をもうける。ケース記録にケアプランの短期目標をファイリングする事で、職員一人一人が意識を持って、目標を意識した対応や記録を書きモニタリングへ展開していく。 | 6ヶ月 |
| 3 | 49 | 日常的な外出支援として日課の散歩とあるが、猛暑や感染症、人員不足を理由に満足に実施出来ていなかった。 | 天候や体力を考慮しながら、なるべく屋外に出る機会を増やし季節を感じていただく。転倒には十分に注意し筋力維持に努める。 | 1日のスケジュールにとらわれず、天候の良い日は積極的に散歩の機会を増やす。転倒には十分に注意し、車椅子やシルバーカーを使用。年齢や体力を考慮し、無理の無い範囲で行う。 | 6ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。